

## 東京都職員組合結成趣意書

われ等がかかる信念のもとに東京都職員組合を結成する

日本を再建する為にわれ等官公吏と総称される公務勤労者もその仕事自体に於て民主主義的変革を受けつつあることを自覚せねばならぬ。たとえ国民大衆により結集された政治勢力が民主主義的政府を建立したとしても実際に行政執行の任に当る公務勤労者が旧態依然の有様であったら果してプログラムは期待通りに進行するであろうか。人類進化の時代的在り方として民主的協同国家へ方向づけられつつある新日本の建設は都会における労働層、農民に於ける農民層と並んで、われわれ公務勤労者層に大きな役割を課しつつあると信念される。この層の民主化は二つの方法に依って完成されねばならない。一つは大衆的政治勢力の外からの刺激により、他は層内部からの自主的行動によってである。

われ等東京都職員組合の結成は後者の先頭を行くものであって特に民衆に直結する地方行政の首位を占め、全国一の職員量を持つ帝都に於ては正しい進歩的な組織が持たれなければならず、又そうすることに依って全国のこの層の蹶起を促進させねばならない。本組合の行動目標は従って仕事そのものに本来しつつ、

- 一、 全職員は都民の為のより良い都政を執行する民主的公僕たること
- 二、 その為の経済的裏付けとして生活を安定せしめること
- 三、 以上の成否の鍵として人事の開明性を確保すること

の三方向に置かれるし一切の障害と闘ってこの目標を実現せしめねばならぬ。都機構の改革、人員の整理、待遇の改善等、われ等の眼前に問題は山積している。先づこれ等から民主的解決の一步を踏み出そうではないか。地位の上下を問わず、男女の性別を分たず、年齢の老少論ぜず真面目に公務勤労者の新しい生き方に挺身する職員の参加を望む。

昭和21年1月15日

東京都職員組合結成準備委員会